

J H F 理事会議事録

日 時： 2024年5月17日(金) 13:00～15:15

場 所： J H F 事務局会議室(北区中里1-1-1-301) /ZOOM 会議

1. 議長・議事録作成人指名

議長： 山口隆文 議事録署名人：出席理事監事全員

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 芦川雄一郎 安田英二郎

オンライン (ZOOM) 橋田明夫 濱田 革 竹村治雄 山口隆文

【監事】 オンライン (ZOOM) 岩村浩秀

(出席理事6名 今理事会は定足数を満たし成立した)

3. 理事・監事の一言

竹村理事：3月30日に一般財団法人日本航空協会 (J A A) 「航空スポーツを広める会議」イベントとして東京都三田図書館でパラグライダーVR体験会を開催。連休に事故があり安全性委員会で確認していく。

濱田理事：連休中に北海道でモーターパラグライダー (M P G) の重大事故が発生。海に慣れていない方で、その時はフライトでライフジャケットを着けていなかった。昨年もM P G事故があり、安全セミナー等対策が必要。学生連盟との競技会等の件は委員会に確認中。

安田会長：ハングライダー会員でC T R (制限空域) に関心があり詳しい方から連絡があった。協力をしてもらいたいと考えている。

4. 審議事項

第4-1号議案 2023年度事業報告について

安田会長より事業報告概要について説明があった。

竹村理事：特記事項の記載で大会やシンポジウム等の協賛内容も次回から入れた方がよい。

2023年度事業報告、委員会報告は一部修正をして総会にて正会員へ報告し、内閣府へ提出する。

出席理事全員 (議長を除く5名) の賛成で承認

第4-2号議案 2023年度決算について

芦川副会長より決算について説明があった。

岩村監事：収支計算書で当期収支差額が361万円。2024年予算の際に赤字でもよいとしたが、手元資金が枯渇する予想で運営基金積立預金を195万円の取り崩しを行った。システム費は、システム構築積立預金200万円を資金として押さえた。賛助会費が回収出来ないところは1部雑費にした。

2023年度決算報告は総会にて正会員へ報告、一部議決し、内閣府へ提出する。

出席理事全員 (議長を除く5名) の賛成で承認

第4-3号議案 2024年度通常総会議事・議題について

安田会長から説明があり、総会議事・議題について確認した。

2024年度総会次第が決定した。定款による目的事項送付期限である通常総会（6月18日）の4週間前（5月21日）に事務局から正会員宛にメールにて送付した。

出席理事全員（議長を除く5名）の賛成で承認

第4-4号議案 2024パラグライディング日本選手権開催地承認について

濱田理事より茨城県ハング・パラグライディング連盟より申請があったパラグライディング日本選手権開催申請の説明があった。

2024パラグライディング日本選手権を茨城県足尾エリアで9月20日～23日に開催する。

出席理事全員（議長を除く5名）の賛成で承認

第4-5号議案 安全性委員追加選任について

安田会長：安全性委員会へ大井義継氏が2024年度応募締切迄に継続応募があったが、一部不足があり3月理事会には間に合わず改めて選任決議となる。定員は満たしているが、定員オーバーはZoomによるオンライン会議等で経費は抑えられること、協力してくれる新しい人は迎えて幅を広げたい。

竹村理事：委員会でもコメントを出してくれているし、人数が増えることが容認出来れば審議したい。

2024年度安全性委員会へ大井義継氏を選任する。

出席理事全員（議長を除く5名）の賛成で承認

5 協議事項

5-1 普及のための調査について

安田会長：コンサルタント会社からの企画書、見積もりがあった。20代会員を増やしたいことについて人数を絞ってじっくりヒアリングする提案である。

山口理事：調査はよいが次の段階が必要。パラグライダースクールは増えているところ、減っているところがあり、全体では減っている。年齢層が高い所だと若い人が浮いてしまう。増えているスクールを活用したい。

安田会長：大きな人数のアンケート調査は可能だが、個別の調査が出来ない。長い間会員を増やそうとしていたが、外部の力を借りて違う視点で見たらどうか。次の段階が一番大事なので、教員の質の向上や問題点等を改善して取り組みたい。

竹村理事：別のスクールに転校し難い。機材販売と教習が抱き合わせもある。JHFとして何が出来るか。

山口理事：そのスクールで買わないと飛ばせてもらえない雰囲気のは是正も必要である。

竹村理事：自動車教習所の合宿免許のようなものを提供出来る教員がいるとよい。調査の前に議論が必要。教員にウェブアンケート等で意見を聞いたらどうか。

濱田理事：教育システムが出来ているスクールは、個人別課程表があり上達具合が分かる。学生が卒業をしても続ける課題に調査分析へお金を出してもよいと思うが、費用対効果も考えて実態と判断が必要。調査をどこに繋げるかが重要なので、理事会や教員を集めて討論して提案迄を入れてもらいたい。

橋田理事：四国はスクールがなくなって来ている。教員がいないエリアはライダー販売業者が検定、ラ

イセンス発行をしている。同好会が入っていけるスクールが必要。

竹村理事：会員を増やすのはエリアやスクール。JHFとしてのサポートは、フライトエリアの存続、地元自治体、地権者との交渉等のノウハウ支援もあるとスクールを始める人も増えると思う。アンケートを取り内容を調査会社に見せて依頼したらどうか。

安田会長：20代を増やしたい提案なので、調査対象者の範囲を広げるか、減っているエリアへ広げる、どのエリアがよいか、調査する側に会員以外も必要ではないか等、今日の議論も踏まえて継続議論としたい。

5-2 義援金について

芦川副会長より、2011年東日本大震災援助金口座に会員の方からの寄付で、今迄も日本赤十字社、あしなが東日本大震災・津波遺児基金・熊本地震の際に熊本県フライヤー連盟へ理事会で協議し寄付してきた。現時点で95,000円口座にある。

山口理事：改めて募金先を決め、期限を決めて集めJHFとして寄付がよい。募金先については、事務局で検討、理事会へ提案とする。

6 報告事項

6-1 システム改修について

竹村理事：資料として、システム改修の計画線表を提出している。郵便料金値上げ前までにフライヤー会員証の電子化等を行い、事務局からの郵送が不要となるようにしたい。このために、線表に従った段階的な改修を行うが、開発期間が短いため、いくつかの改修を段階的に実施し、担当理事が契約内容を精査することとして、納入までの時間を優先して随意契約としたい。

岩村監事：随意契約にするにしても、具体的な改修内容、随意契約とする理由を文書化して理事会審議が必要である。

竹村理事：それでは、必要な理由書を作成して文書理事会での審議を希望する。

議長（山口理事）：6月中に文書化して文書理事会で進めてください。

6-2 JAA表彰の推薦について

竹村理事：理事会で決議しX-ALPSの江本氏をJAA表彰「空の夢賞」に推薦はしたが、JAAから資料不足とのことで大量の資料を要求され準備不足で取り下げた。X-ALPSは2年に1回あるので来年推薦するか別の形で江本氏を表彰するか検討する。

6-3 フライヤー会員数、技能証発行件数

資料に基づいて確認した。

この議事録が事実と相違ないことを確認し記名押印する。（出席理事）

理事

芦川雄一郎 印

竹村治雄 印

橋田明夫 印

濱田 革 印

安田英二郎 印

山口隆文 印

監事

岩村 浩秀 印

議事録作成人：桜井加代子